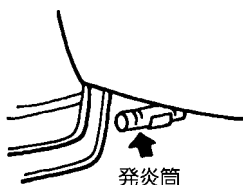


●発炎筒の使いかた.....	214
●道路で故障したときは.....	215
安全な場所に退避できないとき	215
一般の道路で故障したとき	215
高速道路や自動車専用道路で故障したとき ...	215
踏み切りや交差点でエンストしたとき	216
踏み切りで出られないとき	216
●けん引するときは.....	217
他車にけん引してもらうとき	217
後ろ側のフックについて	219
●バッテリーがあがったときは.....	220
●オーバーヒートしたときは	222
●ヒューズを交換するときは	223
●工具・ジャッキ・スペアタイヤについて	225
格納場所.....	225
スペアタイヤ	226
ジャッキアップのしかた	228
●パンクしたときは.....	231
タイヤ交換のしかた	231
●事故がおきたときは.....	235

発炎筒の使いかた

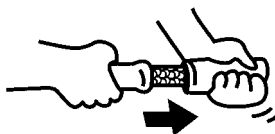
故障や事故などで緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

- ①助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。



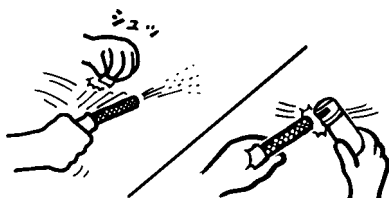
TCA0157Z

- ②本体を回しながらケースから引き抜きます。



TCA0158Z

- ③点火部をケースのすり薬でこすって点火します。



TCA0159Z

警告

- ・お子さまには触らせないでください。いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- ・可燃物の近くで使わないでください。引火する危険があります。
- ・点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけないでください。やけどをする危険があります。
- ・トンネル内では使わないでください。煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり事故をまねくおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。

知識

- ・点火後は約5分間燃え続けます。発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- ・発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

道路で故障したときは

道路で故障したときは、必ず安全な場所に車を退避させてください。ただちに非常点滅表示灯などで、後続車に危険を知らせてください。

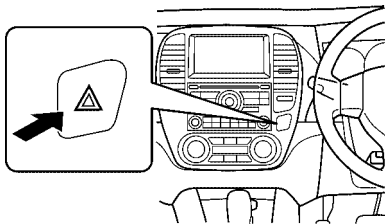
安全な場所に退避できないとき

車が安全な場所に移動できないなど緊急を要するときは、発炎筒で後続車に知らせてください。

●発炎筒の使いかた…214ページをお読みください。

一般の道路で故障したとき

- ①車を広場や路肩など安全な場所に止め、非常点滅表示灯を点滅させてください。
- ②安全を確保後、救援を頼みます。



ZPA0289

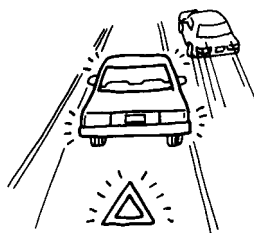


注意

- ・動けないときは、付近の人に押してもらい、安全な場所に移動してください。

高速道路や自動車専用道路で故障したとき

- ①車を路肩など安全な場所に止め、非常点滅表示灯を点滅させ、車の後方に停止表示板又は停止表示灯を置いてください。

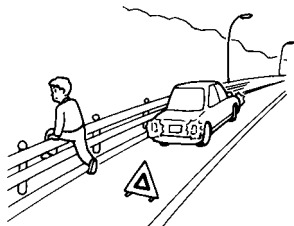


TCA0160Z

知識

- ・停止表示板（停止表示灯）の表示は法律で義務づけられています。
- ・停止表示板（停止表示灯）は車載されていませんので、必要に応じて準備してください。

- ②全員車から降り、ガードレールの外など安全な場所に、すみやかに避難してください。

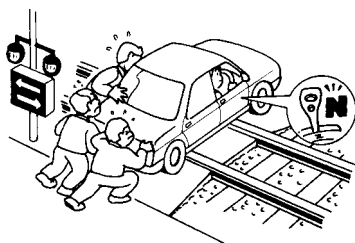


TCA0161Z

- ③安全を確保後、救援を頼みます。

踏み切りや交差点で エンストしたとき

- ①あわてずエンジンをかけ直してみます。
- ②エンジンがかからないときは、付近の人に救援を求めて、車を押しもらい、安全な場所に移動してください。このときセレクトレバーを**N**にしてください。



TCA0162Z

- ③安全な場所に移動後、救援を頼みます。

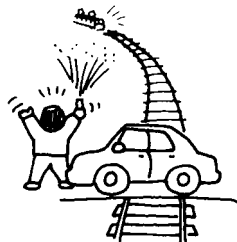


注意

- ・エンジンが止まると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。

踏み切りで出られないとき

- ①ただちに踏み切りの非常ボタンを押してください。
- ②車に備え付けの発炎筒で一刻も早く列車に知らせてください。
☒ 発炎筒の使いかた…214ページをお読みください。



TCA0163Z

けん引するときは

車が動かなかったり、異常な音がするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。

けん引が必要なときは、できるだけ日産販売会社、又は専門業者に依頼してください。

●JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

他車にけん引してもらうとき

注意

- ・けん引してもらうときは、イグニッションノブをLOCKにしないでください。ハンドルがロックされ操作ができなくなり危険です。
- ・エンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりまですので注意してください。
- ・長い下り坂では、ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。
- ・e・4WD車はトレーラーに搭載するか、4輪接地の状態でけん引してもらってください。2輪を上げた状態でけん引すると、上げた車輪が回転して、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。

注意

- ・イグニッションノブがLOCKの位置でバッテリーがあがると、ステアリングロックの解除ができなくなるため、このままの状態でけん引しないでください。けん引するときは救援車のバッテリーとつなぎ、イグニッションノブを回してステアリングロックを解除し、ハンドル操作ができる状態で行ってください。また、けん引中はイグニッションノブをLOCKの位置にしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。

アドバイス

- ・けん引してもらうときは、速度30km/h以下、距離30km以内にしてください。高速走行や長距離走行をすると、トランスアクスルが破損することがあります。できるだけレッカー車、又はトレーラーを依頼してください。
- ・トラックや大型4WD車など、けん引フックの位置が高い車両でのけん引はしないでください。ロープでバンパーを傷つけるおそれがあります。
- ・けん引ロープはできるだけソフトロープをお使いください。

目次

安全・快適
ドライブのため走行する
前に走行する
とき室内装
備の
使いかたつ車と
あの上
か手な万一の
とき付
録さく
いん

①e・4WD車は2WDに切り替えてください。

●e・4WD…134ページをお読みください。

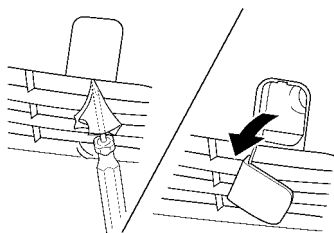


注意

- ・e・4WD車で2WDに切り替わらないときは、4輪車載をしてください。

②ねじ込み式けん引フックを付けます。

1) カバーの溝にマイナスドライバーのような先の細いお手持ちの工具を差し込みます。



ESF0505Z

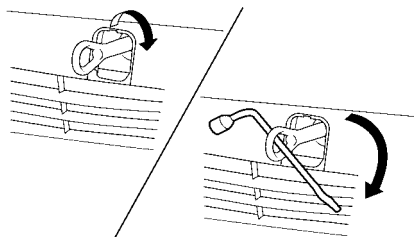


アドバイス

- ・工具に布などをあてながら外してください。車体に傷をつけるおそれがあります。

2) けん引フックを車両に付けます。けん引フックはトランクルームにあります。けん引フックをホイールナットレンチを用いて確実に取り付けます。

●工具…225ページをお読みください。



ESF0506Z

③自車及び他車のけん引フックにロープを掛けます。



注意

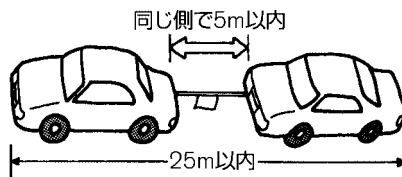
- ・指定以外のフックは絶対に使わないでください。フック部が破損するおそれがあります。



アドバイス

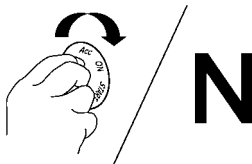
- ・ロープを掛けるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。

④ロープ中央に30cm×30cm以上の白い布を必ず取り付けます。



TCA0242Z

- ⑤エンジンをかけられるときは、エンジンをかけ、セレクトレバーを**N**にします。



ECE0142Z

注意

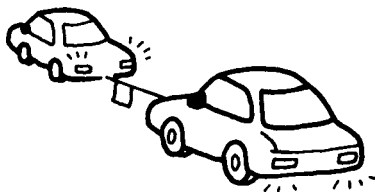
- ・エンジンをかけられないときは、イグニッションノブをAcc又はONにしてください。

- ⑥パーキングブレーキを解除します。

警告

- ・パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキが過熱して効かなくなるおそれがあります。

- ⑦けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。



TCC0071Z

知識

- ・前の車のブレーキに合わせてブレーキを踏むと、ロープをたるませない運転ができます。

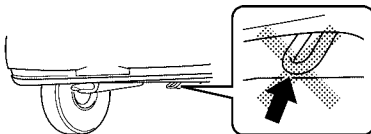
*使い終わったら、けん引フックを取り付けた逆の手順で取り外します。

後ろ側のフックについて

後ろ側のフックは車両輸送時の固定用です。

けん引には絶対に使わないでください。

この車で他車をけん引することはできません。



ESF0383Z

アドバイス

- ・けん引用として使うと、車両を損傷するおそれがあります。

バッテリーがあがったときは

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- *スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからないとき。
- *ライトがいつもより極端に暗いとき。
- *ホーンの音が小さい、又は鳴らないとき。

●処置のしかた

12V（ボルト）バッテリー仕様の救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつなぎ始動してください。

- ①イグニッションノブをLOCKに戻します。
- ②ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1本目

- ①自車（あがった）バッテリーの⊕端子
- ②救援車（正常な）バッテリーの⊕端子

2本目

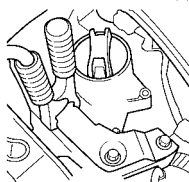
- ③救援車（正常な）バッテリーの⊖端子
- ④自車のエンジン本体（バッテリーから離れたステーなど）



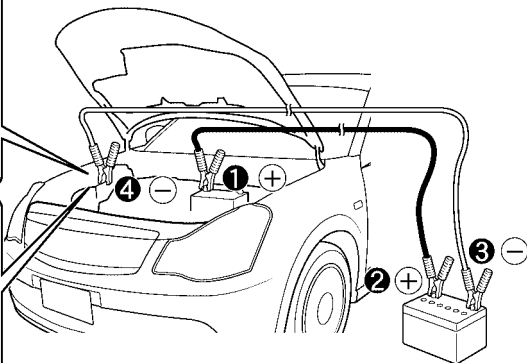
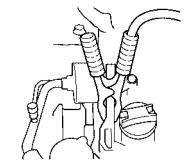
警告

- ・ブースターケーブルをつなぐときは、以下のことを必ず守ってください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- *ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
- *ブースターケーブルを自車バッテリーの⊖端子に直接つながない。
- *ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。

〈HR15DEエンジン付車〉



〈MR20DEエンジン付車〉



③救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。

④自車のエンジンをかけます。

- ・エンジンをかけるときは、ヘッドランプやエアコンなどは OFF にしてください。
- ・エンジンが始動しても、しばらくエアコンやオーディオを使わないでください。



アドバイス

- ・スターターが回ってもエンジンが始動できない場合には、一旦イグニッションノブをAcc又は (OFF) に戻し、10秒以上待ってから再始動してください。

⑤ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。

⑥早めに日産販売会社で点検を受けてください。



警告

- ・バッテリーを充電するときは換気を十分行い、火気は近づけないでください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- ・バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受けてください。



注意

- ・ブースターケーブルのワニグクリップは、車体に触れたり、他のワニグクリップと接触しないように注意してください。
- ・ブースターケーブルは、エンジン始動時の振動で外れたりしないように、確実につないでください。
- ・ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。



アドバイス

- ・押しがけでの始動はできません。
- ・バッテリーはお客さまの車に適合した日産純正部品をおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
- ・バッテリーがあがるとステアリングロックの解除が行えず、イグニッションノブを回せなくなります。すみやかにバッテリーを充電してください。

オーバーヒートしたときは

次のようなときは、オーバーヒートです。

＊高水温警告灯が点灯したとき。

●高水温警告灯…97ページをお読みください。

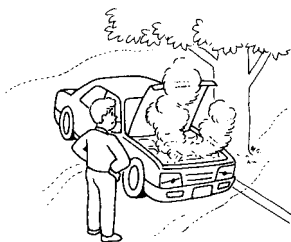
＊エンジンルームのすき間から蒸気が出ているとき。

警告

- ・エンジンルーム内は高温になっているため、エンジンフードを開けるときは十分に注意してください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- ・エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバータンクのキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

●処置のしかた

- ①ただちに安全な場所に停車します。
- ②エンジンをかけたままエンジンフードを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。
万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにエンジンを止め、自然冷却してください。

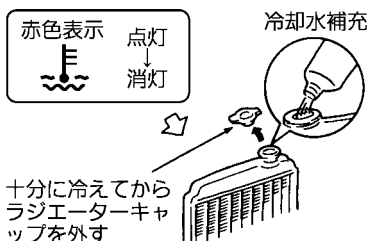


TCA0166Z

警告

- ・蒸気が出ているときは、エンジンフードを開けないでください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
エンジンを止め蒸気が出なくなるまで待ち、エンジンフードを開けてください。

- ③高水温警告灯が消灯したら、エンジンを止めしばらく待ちます。
エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。



十分に冷えてから
ラジエーターキャ
ップを外す

TSC0005Z

- ④冷却水が不足しているときは、ラジエーターとリザーバータンクに冷却水を補充してください。
●ラジエーターとリザーバータンクの位置はエンジンルーム内配置図…241、242ページをお読みください。

アドバイス

- ・応急的に水だけを補充したときは、できるだけ早くエンジンクーラントを交換してください。

- ⑤走行中、再度高水温警告灯が点灯したときは、①～④の作業を繰り返し行ってください。
- ⑥早めに日産販売会社で点検を受けてください。

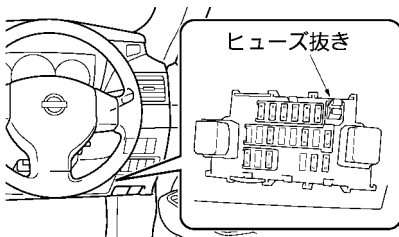
ヒューズを交換するときは

ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。故障の状況から、関係するヒューズの位置を確認してください。

●ヒューズボックスの位置

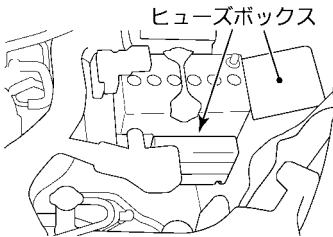
ヒューズボックスは運転席インストルメントパネル右下とエンジンルームにあります。

〈運転席足元〉



ESF0508Z

〈エンジンルーム〉



ESE0698Z

*イラストは、HR15DEエンジン付車です。



知識

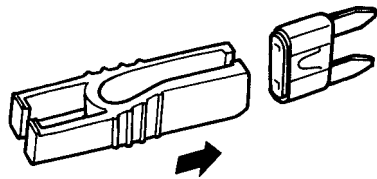
- ・バッテリー右側のヒューズを交換するときは、日産販売会社にご相談ください。

●ヒューズの位置

- ・ヒューズの位置はヒューズボックスのふたに表示してあります。
- ・車種により、付いていないヒューズがあります。

●ヒューズの交換のしかた

- ①イグニッションノブをLOCKにします。
- ②ヒューズボックスを開けます。
- ③ヒューズ抜きをヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか確認します。

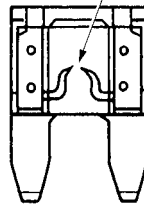
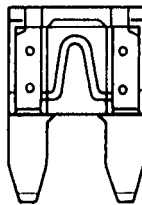


TSD0302Z

- ④ヒューズが切れているときは、同じ容量のヒューズと交換します。

正 常

ヒューズ切れ



TCA0169Z



警告

- ・規定容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使わないでください。配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。



アドバイス

- ・交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- ・ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。



知識

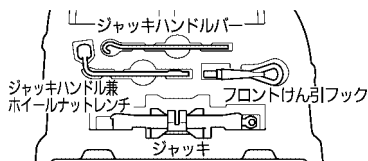
- ・ヒューズの種類により、ヒューズの内部形状が異なります。

工具・ジャッキ・スペアタイヤについて

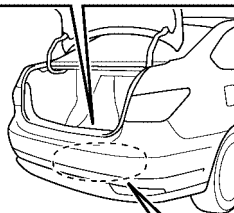
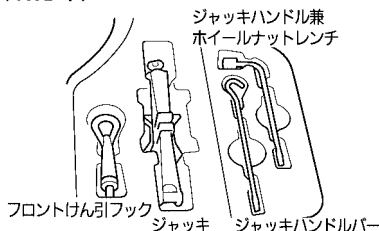
格納場所

工具、ジャッキ、スペアタイヤは、トランクルームに格納されています。

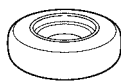
<2WD車>



<4WD車>



スペアタイヤ



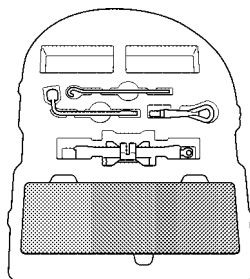
ESF0509Z

注意

- 工具、ジャッキ、スペアタイヤを使ったあとは、元の場所に格納してください。車内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 工具の種類やジャッキ、発炎筒などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。
○発炎筒…214 ページをお読みください。
- トランクルームには、停止表示板（停止表示灯）を格納するスペースがあります。



ESF0511Z

*イラストは2WD車です。

目次

安全・快適な
ライフのために

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた

車との上手な
付き合い方

万一のとき

付

録

さくいん

スペアタイヤ

スペアタイヤは応急用タイヤを搭載してあります。



注意

- ・スペアタイヤの空気圧はときどき点検してください。また、年に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。長期間放置すると空気圧が減り、万一のとき使用できないことがあります。

応急用タイヤの空気圧は 420kPa (4.2kg/cm²) です。

- ・タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社にご相談ください。
- ・スペアタイヤを取り付けたときは、タイヤ接地部のたわみを確認してください。たわみが大きいときは空気圧が不足しています。すみやかに空気圧を調整してください。

空気圧が不足したまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●応急用タイヤについて

応急用タイヤは、タイヤがパンクしたときに応急用として一時的に使うタイヤです。

間違った使いかたをすると、思わぬ事故につながるおそれがありますので、次のことを守ってください。



注意

- ・応急用タイヤ及びホイールはこの車専用です。他車の応急用タイヤを使ったり、他車に使わないでください。
 - ・応急用タイヤに交換したときは、100km/h以下で走行してください。
 - ・応急用タイヤには、タイヤチェーンは取り付けられません。
- 雪道、凍結路で前輪がパンクしたときは、応急用タイヤを前輪に使わず、後輪に付け、外した後輪を前輪に取り付けてください。
- ・応急用タイヤに交換したときは、できるだけ早く標準タイヤに戻してください。
 - ・摩耗した応急用タイヤは、新品と交換してください。

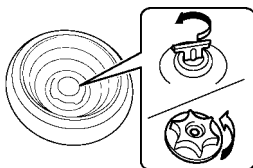


アドバイス

- ・応急用タイヤに交換すると、車高が少し低くなります。地面の突起物などを乗り越えるときは、車体が接触しないように注意してください。

●スペアタイヤの取り出しかた

- ①トランクルームカーペットを取り外します。(2WD車は、工具が格納されているボード(板)を取り出します。)
- ②タイヤを固定しているクランプをゆるめてタイヤを取り出します。



ESH0367Z

*スペアタイヤを格納するとき、取り出したときと逆の手順で行ってください。



注意

- ・タイヤは重いので、脱着するときは注意して行ってください。



アドバイス

- ・スペアタイヤはクランプでしっかりと固定してください。ゆるんでいると、走行の妨げになります。

ジャッキアップのしかた



警告

- ・ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らないでください。ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。
- ・ジャッキアップ中は、エンジンを始動しないでください。車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。



注意

- ・ジャッキを使うときは、次のことを必ず守ってください。
 - ＊ジャッキは必ず車載されたものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、車載されたジャッキは他車に使わないでください。
 - ＊ジャッキはタイヤ交換又はタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。
 - ＊平坦で硬いところに駐車して作業してください。
 - ＊使用前にパーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにしてください。
 - ＊輪止めなどで車を固定してください。
 - ＊ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
 - ＊人や荷物は必ず車から降ろしてください。

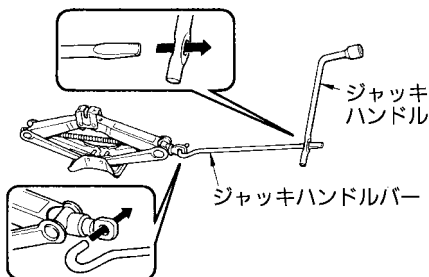
●ジャッキの取り出ししかた

- ・トランクルームカーペットを取り出します。
- ・ジャッキを取り出します。
 - ジャッキ格納場所…225ページをお読みください。

＊格納するときは、取り出したときと逆の手順で行います。

●ジャッキハンドルのセットのしかた

- ・ジャッキにジャッキハンドルバーとジャッキハンドルをセットします。



TCA0215Z



注意

- ・ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。



アドバイス

- ・ジャッキハンドルバーは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込んでください。

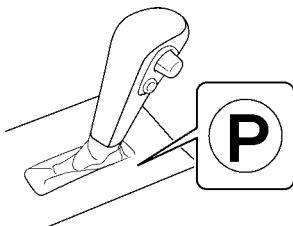
●ジャッキアップのしかた

交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。

注意

- ・やわらかい地面の上では行わないでください。ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。

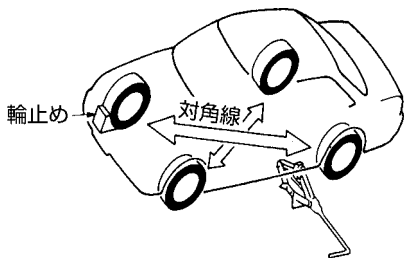
- ①パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにし、エンジンを止めます。



ESF0461Z

- ②ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。

- ・輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。



TCA0455Z

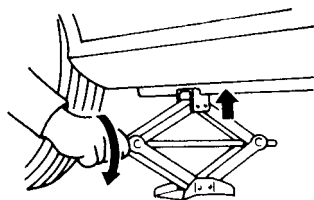
注意

- ・やむを得ず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにしてください。

知識

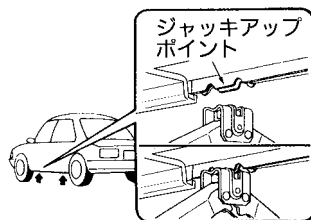
- ・輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

- ③ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイントの中央に入るまで上げます。



TCA0172Z

＜ジャッキアップポイント＞

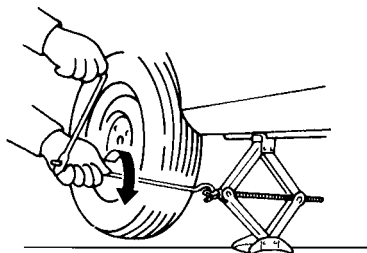


TSC1983Z

**アドバイス**

- ・ジャッキアップポイント以外の所にはジャッキをかけないでください。車体に変形するおそれがあります。

- ④ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



TCA0174Z

**注意**

- ・ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

パンクしたときは

タイヤ交換のしかた



注意

- ・タイヤ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。走行直後はホイールナットが熱いため、やけどやケガをするおそれがあります。

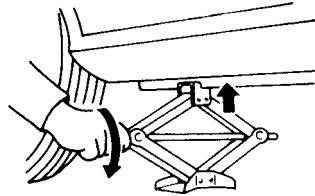
- ①交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車します。
 - ・人や荷物を降ろします。
 - ・必要に応じて、非常点滅表示灯を点滅させ、停止表示板（又は停止表示灯）を置きます。
 - ・工具、ジャッキやスペアタイヤを取り出します。
 - ジャッキアップのしかた…228ページをお読みください。
 - スペアタイヤの取り出しかた…227ページをお読みください。



TSC1432Z

- ②ジャッキをセットします。

- ・ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイントの中央に入るまで上げます。
- ジャッキアップポイント…229ページをお読みください。
- ・スペアタイヤをジャッキ近くの車体の下に置きます。



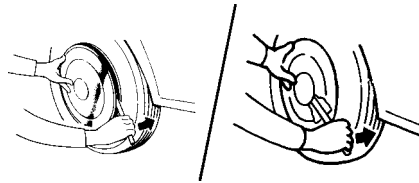
TCA0172Z



アドバイス

- ・応急用タイヤを置くときは、ラベル貼付面を上にしてください。

- ③フルホイールカバー又はセンターキャップ付車は、工具に布などをあてて、ホイールカバー又はセンターキャップを傷つけないように外します。



TCA0175Z

〈ホイールカバー〉 〈センターキャップ〉

目次

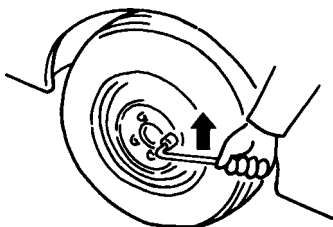
安全・快適力
ライフのため

走行する前に

走行するとき

室内装
備の
使いかたつ車と
あいの
上手な万一の
とき付
録さく
いん

- ④ホイールナットレンチで、全てのナットを反時計回りに約1回転ゆるめます。



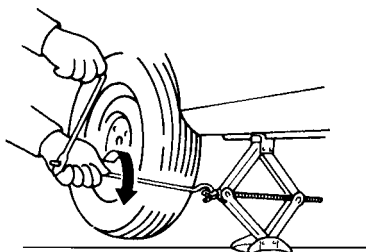
TCA0287Z



アドバイス

- ・タイヤを接地状態にして行います。

- ⑤ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまでジャッキアップします。



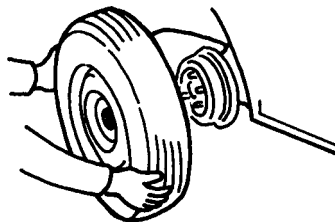
TCA0174Z



注意

- ・ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

- ⑥ナットを外し、パンクしたタイヤを外して車体の下に置きます。



TCA0178Z

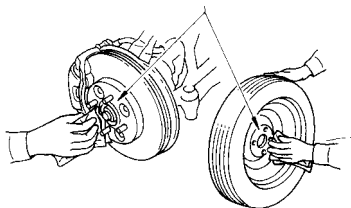


アドバイス

- ・タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にしてください。

- ⑦ハブの取付面とホイール裏側の取付面を布でよくふき、スペアタイヤを取り付けます。

ホイールとハブの取付面



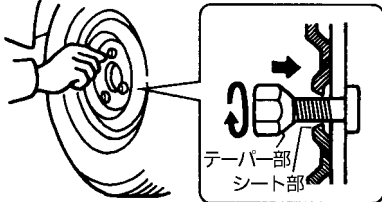
TCE0099Z



注意

- ・取付面が汚れていると、走行中にナットがゆるみタイヤが外れるおそれがあります。
- ・応急用タイヤは、ラベル貼付側が外側になるように取り付けてください。逆に付けると他の部品と当たり、思わぬ故障につながるおそれがあります。

- ⑧ナットのテーパー部分が、ホイール穴のシート部に軽く当たるくらいまで、時計回りに回して締め付けます。



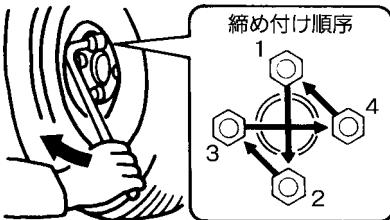
TSA2228Z



警告

- ・ナットを取り付けるときは、ナットやボルトにオイルやグリースなどを塗らないでください。走行中にナットがゆるみ、タイヤが外れるおそれがあります。

- ⑨ナットを、図の順序で2～3回に分けて締め付けます。

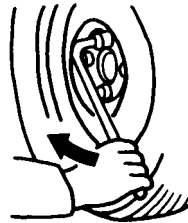


TSA2229Z

- ⑩ジャッキを下げます。

さらにナットを⑨の締め付け順序で十分に締め付けます。

*ホイールナット締め付けトルク
108N・m (11kg・m)



TSA2230Z



注意

- ・ジャッキを下げるときは、ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを両手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。



アドバイス

- ・ホイールナットレンチを足で踏んで回したり、パイプなどを使って必要以上に締め付けしないでください。ボルトが折れるおそれがあります。

- ⑪ ホイールカバー又はセンターキャップを取り付けます。
ホイールカバーはエアバルブの位置を合わせます。
- ⑫ パンクしたタイヤや使用した工具、ジャッキなどをトランクルームに格納します。



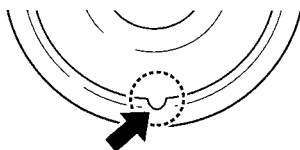
注意

- ・タイヤを取り付けてしばらく走行したあと、ナットのゆるみがないか確認してください。



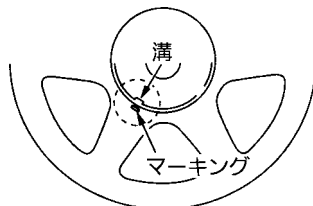
アドバイス

- ・応急用タイヤには、ホイールカバーは取り付けられません。
- ・応急用タイヤは、すぐに標準タイヤに戻してください。
- ・フルホイール付車は、標準タイヤにホイールカバーを取り付けるとき、エアバルブの位置を合わせてください。



TCA0480Z

- ・アルミホイール付車は、センターキャップを取り付けるとき、ホイールの印（マーキング）とキャップの溝の位置を合わせてください。



TSF0144Z

事故がおきたときは

あわてずに次の処置をしてください。

1 続発事故の防止

他の交通の妨げにならないような安全な場所に車を移動させ、エンジンを止めます。

2 負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師・救急車が到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

3 警察への届け出

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを連絡します。

4 相手方の確認とメモ

相手方の氏名、住所、電話番号などを確認してメモします。
同時に事故状況もメモしておいてください。

5 販売会社と保険会社への連絡

ご購入された販売会社と加入の保険会社へ連絡します。

目次

安全・快適な
ドライブのため

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた

車と上手な
付き合い

万
一
の
時
き

付
録

さ
く
い
ん

